

コロナに負けない地域活動



皆様あけましておめでとうございます。

昨年度はコロナウイルスの影響により、各団体の地域活動が、ほとんど実施されず、なかなか皆様との連携が取れませんでした。

もちろんまちのちから協議会も同様な状況です。茅ヶ崎市でも254人（令和2年12月18日現在）の感染者がおられるとのことコロナウイルス感染は第3波の波が来ており今年も続くと思われます。

こういった状況の中でいかにコロナとの共存を図り、新しい生活様式、行動様式において地域活動をどのようにして進めるかが、今後の大きな課題となるかと思ひます。まちのちから協議会が主催している、市民のつどい、防災訓練、赤ちゃんサポート、広報誌発行等においてコロナ感染防止対策を取りながら、具体的な実施をどのように実行するかが頭を悩ますところです。

- ・市民のつどいでは、地域住民の意見・要望を直接行政とディスカッションしましたが、今後は、どのようにして多くの人の意見を行政に届けるか、市政に反映するか。
- ・防災訓練では具体的な避難、防災機器の取り扱い等を実習しましたが今後はどのような行動をすればいいのか、地域との連携はどうすればいいのか。
- ・赤ちゃんサポートは人数や感染防止の制約の中で実施しているが、多くの若いお母さんの育児や子どもとの生活上の悩みをどのように相談し、解決に結びつけるか。



昨年度 防災訓練

コロナウイルス感染がいつ収束するかわからない中で、地域の活動も重要性も増してくることかと思ひます。現在具体的にどのように地域活動を進めるかは模索中であり、より良いやり方について皆様方からの意見を聞きながら進めていく所存です。早く従来のような活動ができるようになることを願うばかりです。